

平成30年9月12日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「OKB景況指数」2018年9月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤 義徳)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数(旧K-REX)」を公表しております。このたび、2018年9月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

調査結果要旨

景気の水準	受注好調な製造業がけん引し、9期連続で上昇。 愛知県は2期ぶりに上昇するも、岐阜県では一服感。
景気の方角	3ヵ月後は、岐阜県では強含む一方、愛知県では貿易摩擦への懸念から弱含みの予想。

OKB景況指数 とは・・・

OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にある**OKB大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景気水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としていない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤 TEL 0584-74-2615】

OKB景況指数（2018年9月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある支店の支店長
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方
- (3) 調査方法 2018年8月下旬に調査票を配付し、8月末までに回収

調査結果

景気的水準： 受注好調な製造業がけん引し、9期連続で上昇。愛知県は2期ぶりに上昇、岐阜県は10期ぶりに低下。

景気の方： 3ヵ月後は、岐阜県では強含む一方、愛知県では貿易摩擦への懸念から弱含みの予想。

	景気的水準(2018年9月期)	景気の方(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> ・景気全般は+30.7（前回は+0.3）と、9期連続で上昇、引き続き景気は回復基調。4期連続で最高値を更新。 	<ul style="list-style-type: none"> ・+0.6と「良化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <p>自動車関連や工作機械関連の製造業が好調を維持。貿易摩擦や人手不足といった懸念材料はあるものの、東海経済は堅調に推移。</p>	
県別	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県では+38.0（前回は+4.2）と2期ぶりに上昇した。 ・岐阜県では+23.9（前回は▲2.7）と10期ぶりに低下した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県は▲9.9と「悪化」超 ・岐阜県は+8.5と「良化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <p>・愛知県は、製造業、建設業を中心に好調であるも、米中貿易摩擦や新興国市場などの懸念から様子見が始まっている。</p> <p>・岐阜県は、生産活動や設備投資は好調。今後、コスト上昇や新興国不安などリスクはあるものの、現行水準での推移は可能。</p>	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨・郡上を除く9地域がプラス水準となった。前回調査から、名古屋、東尾張、岐阜、西濃の4地域が上昇した。一方、東三河、東濃・可茂、飛騨・郡上の3地域は低下した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「良化」超 岐阜、西濃、飛騨・郡上 ・「悪化」超 名古屋、東尾張、西三河、東濃・可茂
	<p>(支店長コメント)</p> <p>【名古屋地域】 上場企業、特に工作機械、自動車関連中心に決算良好。好業績を背景に賃上げや一時金支給など社員への還元も見られる。</p> <p>【飛騨・郡上地域】 7月豪雨の影響で一時国道が寸断、JRが不通となり観光客数が激減したものの、8月中旬には復旧し戻つつある。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> ・「全地域」を項目別に見ると、「雇用」が+73.4（前回は+2.9）と人手不足感はタイトな状況が続く。「設備投資」、「企業収益」は前回から上昇。「生産活動」はわずかに低下したものの、30ポイント台を維持。「個人消費」、「資金需要」は前回から低下し、マイナス水準に沈んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「増加」超 「設備投資」 ・「減少」超 「生産活動」、「企業収益」 ・「不足」超 「雇用」
	<p>(支店長コメント)</p> <p>「個人消費」： 企業業績は好調であるものの、特に中小企業での賃金上昇は限定的。個人の節約志向は続く見通し。</p> <p>「生産活動」： 自動車関連、工作機械製造業は受注堅調。ただし、人手不足で増産対応は難しく、横ばい圏内で推移。</p> <p>「設備投資」： 愛知県では省力化、省人化の設備投資、工場建設など積極的な動きが見られる。岐阜県では、製造業などで積極的な動きがあるものの、更新需要が中心。</p> <p>「企業収益」： 好調な生産活動を受け、企業収益は好調。ただし、人件費高騰・原油高・原料高が圧迫要因となっている。</p> <p>「雇用」： 全業種で慢性的な人手不足が続いている。建設、運送、介護分野では特に深刻。外国人の受け入れに取り組む企業が増えている。</p>	

* (支店長コメント) は、該当エリア・項目の調査結果(水準・方向)と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

- ①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。
 ②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方角」を示す指数。

右記の例の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウェイト調整を行った上で、最高点が100、最低点が▲100となるように、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2018年9月期)

地域名	景気全般		個人消費		生産活動		設備投資		企業収益		資金需要		雇用	
	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し
名古屋	35.3(+8.8)	↘	0.0(▲2.9)	↔	35.3(▲11.8)	↗	29.4(+5.9)	↗	20.6(+2.9)	↘	▲5.9(▲8.8)	↔	82.4(+8.8)	↗
東尾張	48.0(+8.0)	↘	6.0(▲4.0)	↔	46.0(+4.0)	↘	48.0(+12.0)	↘	36.0(+8.0)	↘	6.0(▲12.0)	↘	74.0(▲2.0)	↗
西尾張	22.2(0.0)	↔	▲2.8(▲2.8)	↘	36.1(+13.9)	↗	27.8(+2.8)	↗	13.9(▲5.6)	↗	▲8.3(▲16.7)	↔	75.0(▲16.7)	↗
西三河	50.0(0.0)	↘	37.5(+12.5)	↔	50.0(0.0)	↘	37.5(▲25.0)	↘	37.5(0.0)	↔	37.5(▲12.5)	↘	87.5(0.0)	↗
東三河	33.3(▲16.7)	↔	0.0(0.0)	↔	0.0(▲33.3)	↔	0.0(▲33.3)	↔	16.7(▲50.0)	↔	0.0(0.0)	↔	50.0(▲33.3)	↔
岐阜	29.1(+2.3)	↗	▲3.5(▲4.7)	↔	30.2(+1.2)	↔	24.4(+2.3)	↗	20.9(▲3.5)	↘	▲10.5(▲3.5)	↗	74.4(+8.1)	↗
西濃	25.9(+5.6)	↗	▲7.4(▲11.1)	↗	40.7(+9.3)	↔	18.5(+9.3)	↗	25.9(+5.6)	↗	▲16.7(+5.6)	↔	70.4(+13.0)	↗
東濃・可茂	16.7(▲11.1)	↘	▲11.1(▲16.7)	↘	5.6(▲16.7)	↔	5.6(▲11.1)	↗	11.1(+5.6)	↘	▲5.6(+5.6)	↘	72.2(+11.1)	↗
飛騨・郡上	0.0(▲50.0)	↗	▲16.7(▲16.7)	↗	0.0(▲33.3)	↘	0.0(▲16.7)	↗	0.0(▲33.3)	↔	0.0(0.0)	↗	50.0(▲16.7)	↗
桑名・四日市	50.0(0.0)	↔	0.0(0.0)	↔	50.0(0.0)	↔	33.3(0.0)	↔	33.3(+33.3)	↔	0.0(▲16.7)	↔	66.7(0.0)	↔
愛知県(5地域)	38.0(+4.2)	↘	5.6(▲1.4)	↘	39.4(+0.7)	↘	35.2(+2.1)	↘	26.1(0.0)	↘	2.8(▲12.0)	↘	76.8(▲4.2)	↗
岐阜県(4地域)	23.9(▲2.7)	↗	▲6.9(▲9.6)	↗	26.6(▲2.1)	↘	17.6(+0.5)	↗	19.1(▲1.1)	↘	▲10.6(+1.1)	↗	71.3(+8.5)	↗
三重(1地域)	50.0(0.0)	↔	0.0(0.0)	↔	50.0(0.0)	↔	33.3(0.0)	↔	33.3(+33.3)	↔	0.0(▲16.7)	↔	66.7(0.0)	↔
全地域	30.7(+0.3)	↗	▲1.5(▲5.8)	↔	32.7(▲0.9)	↘	25.4(+1.2)	↗	22.5(+0.6)	↘	▲4.7(▲5.0)	↔	73.4(+2.9)	↗

(※1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(※2) ()内の前回は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(※3) 見通しは「図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」の「良化(増加・不足) - 悪化(減少・過剰)」の数値が、プラスの場合は↗、マイナスは↘、0は↔で表記。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2018年12月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」 - 「悪化」	「増加」 - 「減少」	「不足」 - 「過剰」				
名古屋	▲11.8	0.0	5.9	17.6	▲5.9	0.0	41.2
東尾張	▲12.0	0.0	▲12.0	▲16.0	▲24.0	▲8.0	16.0
西尾張	0.0	▲5.6	11.1	11.1	5.6	0.0	22.2
西三河	▲25.0	0.0	▲25.0	▲25.0	0.0	▲25.0	25.0
東三河	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岐阜	11.6	0.0	0.0	7.0	▲7.0	4.7	20.9
西濃	3.7	3.7	0.0	11.1	7.4	0.0	29.6
東濃・可茂	▲11.1	▲11.1	0.0	22.2	▲11.1	▲11.1	33.3
飛騨・郡上	66.7	33.3	▲33.3	33.3	0.0	66.7	33.3
桑名・四日市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛知県(5地域)	▲9.9	▲1.4	▲2.8	▲1.4	▲8.5	▲5.6	23.9
岐阜県(4地域)	8.5	1.1	▲2.1	12.8	▲3.2	4.3	26.6
三重(1地域)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全地域	0.6	0.0	▲2.3	6.4	▲5.3	0.0	24.6

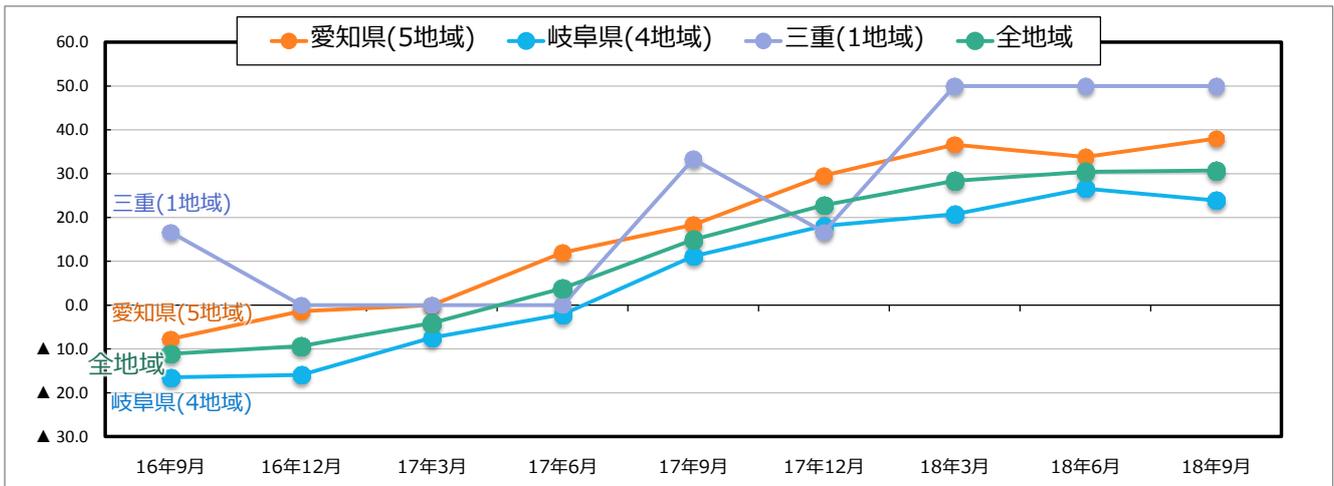
(※) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

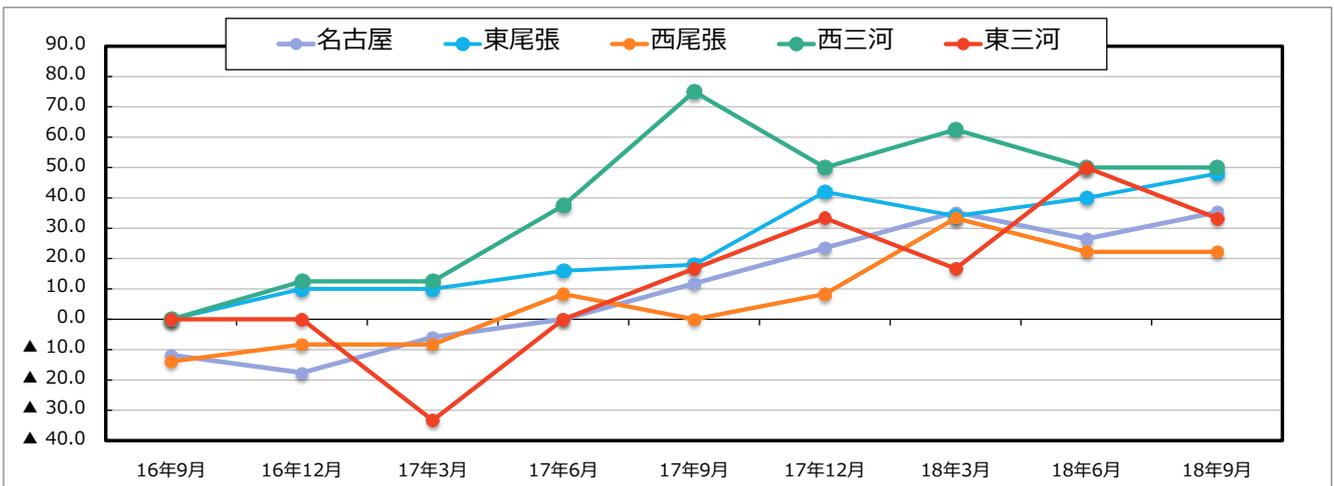
「景気の水準」の推移

■ 県別

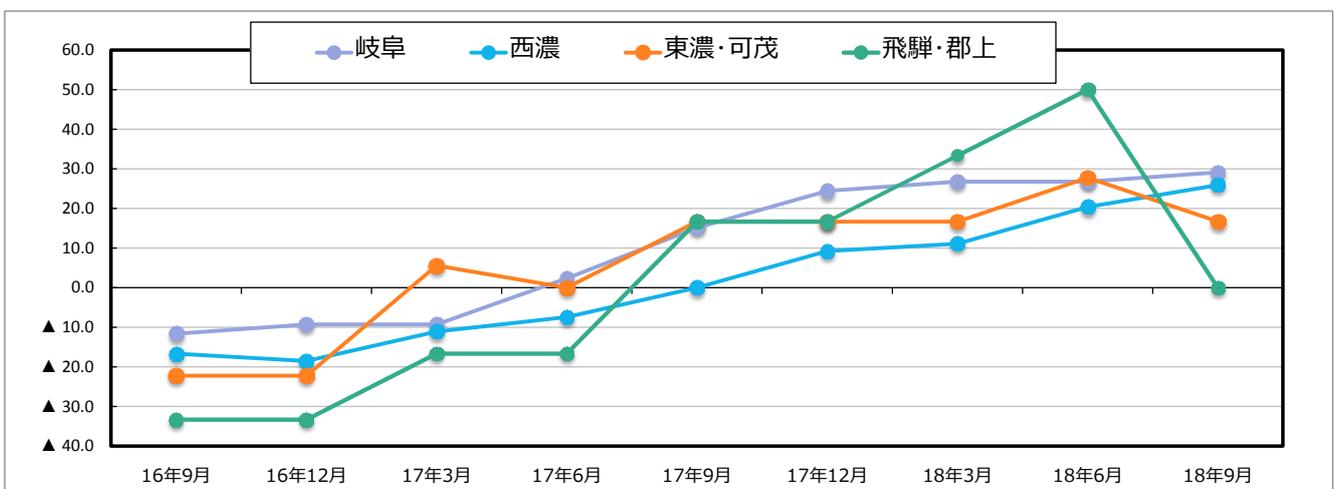


■ 地域別

① 愛知県内



② 岐阜県内



以上